

## 2020 年度実施概要

学校名

三原市立木原小学校

採択活動名

瀬戸内海の豊かさを守ろう～KIHARA ECO PROJECT～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. ストップ！海洋ごみ	5・6	総合的な学習の時間
2. ふるさと木原の海を体験しよう	5・6	総合的な学習の時間
3. ふるさと木原の海を発信しよう	5・6	総合的な学習の時間

取り組みの概要

木原における「豊かな海」とは何なのか、SDGs14「海の豊かさを守ろう」12「つくる責任つかう責任」、15「陸の豊かさを守ろう」、を念頭に、「海洋生物の保護」と「海洋ごみ問題の解決」の両面からアプローチしてきた。

海洋生物の保護については、本校の目の前に浮かぶ無人島「鯨島」と、本校横を流れる「柳川」の2つの場所に着目して学習を進めてきた。鯨島周辺には、かつてよりイワシなどの小魚を目当てにスナメリクジラが集まっていたことから、多種多様な生物が生息できるような藻場が多く存在していたと推測できる。そこで、児童は藻の中でも「海のゆりかご」とも呼ばれるアマモに着目し、春先にアマモの花枝から種子を取り出してポットに植え付け、校内の水槽に用意した人工海水で栽培していった。育てたアマモは、来年度の春先にふたたび海へと還していく。また、三原市漁業協同組合の方々の力を借りて、鯨島への上陸と海洋生物に関する調査も行った。12月の調査では、準絶滅危惧種に指定されている生物も見つけることができた。さらに、他地域の海の様子と海洋生物の保護についても学びを深めるため、沖縄県の竹富町立古見小学校とのリモート交流を行った。沖縄の海と瀬戸内海との比較をすることで、それぞれの海の高さを再発見できただけでなく、海洋プラスチック問題などの共通の課題を発見することもできた。また、本校の横を流れる柳川の流域の調査を行い、上流と下流の環境の比較を行った。児童は上流部で「よい水質」に生息するとされる「シマアメンボ」を発見することができた。その一方で、人家が増える下流部では「汚れた水質」に生息するとされる「オオアメンボ」が発見され、生活ごみも複数見られた。

海洋ごみ問題の解決については、様々な専門家と連携しながら学習を進めた。まずは、ひろしま地球環境フォーラムの会員である株式会社オガワエコノスの方々の力を借りてCODパックテストを用いた柳川の水質調査を行った。上流と下流では水質に違いがあることが分かり、そこには生活排水が大きく関連していることについて学びを深めた。海の環境を改善する手掛かりとして家庭からの生活排水が大きな役割を持っているという視点を得た。つぎに、三原市漁業協同組合長へのリモートインタビューを行い、三原の海の環境の課題などについて知見を深めた。ここでは、書籍やインターネットからの情報で得ていた「海

洋プラスチック」について、三原の海でも同様の問題があることが分かった。また、木原の海岸へ実際に足を運び、漂着ごみの調査を行った。回収したごみのうち実に 88% がプラスチックに由来する物であることが分かり、世界的な問題は自分たちの地域にも当てはまると確認した。そして、自分たちの手で海洋ごみ問題を解決する方法の一つとして、「木原海岸クリーンプロジェクト」を企画・立案した。

これらの「海洋生物の保護」と「海洋ごみ問題の解決」について学習を進めてきた内容について報告資料にまとめ、令和 3 年 2 月 11 日に開かれた「第 8 回全国海洋教育サミット」で全国へ向けて発表した。自分たちの活動と他校の活動とを比較することで新たな示唆を得たり、自分たちの活動を客観的に見直したりすることができた。ここで得た刺激を、次年度の活動へとつなげ、学習成果を高めていきたい。



昨年度から栽培してきたアマモを、藻場に適していそうな場所へ向かって投げている様子。(例年であれば鯨島周辺へ植え付けに行っていたが、本年度はコロナの影響で中止となった。) 次の植え付けに向けて、新たに採集されたアマモの種が、児童によって学校で栽培されている。

学校の横を流れている柳川の調査を行っている様子。普段から見かけるアメンボと水質との関わりがあることに、児童は驚いている様子だった。調査終了より日が経ってから、「さらに上流へ上ることができ。」という話を地域住民から聞き、次年度には調査を行いたいと考えている。(本年度はコロナの影響で実施できず。)



木原の海岸へ赴き、生物の調査および海洋ごみの調査・回収を行っている様子。事前の学習通り、プラスチック由来のごみが多く見られた。地域・保護者を巻き込んだ清掃活動について児童からの提案もあったが、コロナの影響で本年度は見送った。

## 活動中の写真

デジタルデータにて 2~3 枚の添付をお願いします。

(本ファイルへの貼り付け、別ファイルでの添付、どちらでも構いません)